

2017年3月7日
東日本旅客鉄道株式会社

会社発足30周年を迎えるにあたって

2017年4月1日、JR東日本は発足から30周年を迎えます。

この間、当社グループを支えていただいたお客さま、地域の皆さまに感謝を申し上げます。

会社発足30年の節目を迎え、「自主自立」「お客さま志向」「地域密着」という国鉄改革の原点に立ち返り、当社グループの基盤がお客さまや地域の皆さまからの信頼にあることを心に刻み、社員全員が「安全で安定したサービスにより、毎日ご利用いただくお客さまにその先の安心を提供していく」ということを改めて決意いたします。

新たに設定したコミュニケーションスローガン「TICKET TO TOMORROW ～未来のキップを、すべてのひとに。～」のもと、全ての事業分野で、一つひとつ質の高いサービスを提供し、2020年以降の社会に「レガシー（遺産）」を引き継ぎ、レベルアップさせていきます。

1 「TICKET TO TOMORROW」に向けたチャレンジ

(1) 「究極の安全」に向けて

○より実践的な安全教育・訓練を実施し、仕事の「本質」の理解を深めます【別紙1】

- ・シミュレータやモックアップ等、より実践的な教育訓練設備の拡充
- ・より深く過去の事故の教訓を学ぶことを目指した「事故の歴史展示館」のリニューアル

○「安全上の弱点」の克服に引き続き取組みます

- ・震災に備え、高架橋柱や橋脚、盛土等への耐震補強を引き続き推進
- ・ケーブル焼損対策や重要施設のセキュリティ対策等の首都圏電気設備の強化
- ・降雨防災対策や防風柵整備、ドップラーレーダーの活用等による強風・突風対策の推進
- ・新幹線のレール交換の推進や、新幹線大規模改修に向けた取組みを推進

○ホームや踏切での事故の対策に引き続き取組みます

- ・ホーム上における安全対策の推進（ホームドア、内方線付き点状ブロック等の整備）
- ・踏切の安全対策の整備推進（踏切支障報知装置の整備等）

(2) サービス品質の改革

○輸送の安定性向上に向けた取組みを深度化します

- ・輸送障害の発生防止のため、東京100km圏における設備・車両故障防止対策の強化
- ・輸送障害発生時の折返し運転・別線運転等による対応能力の強化【別紙2】

○お客さまへの情報提供のさらなる充実を図ります

- ・輸送障害発生時の運転再開見込みの発表、異常時案内用ディスプレイ等による速やかな情報提供
- ・「JR 東日本アプリ」「どこトレ」等による詳細な運行情報の提供

○お客さまに快適にご利用いただけるサービスを引き続き提供します

- ・駅トイレの改修による便器の洋式化や駅構内の特別清掃による駅美化への取組みの推進
- ・線路沿線の除草や清掃等、沿線美化の取組みの推進

○安心してご利用いただけるサービスを引き続き提供します

- ・「声かけ・サポート」運動の取組みの推進
- ・サービス介助士資格取得の推進

(3) 地域との連携強化

○観光や地域産業の活性化に引き続き取組みます

- ・「TRAIN SUITE 四季島」や「のってたのしい列車」などの運行を通じた、地域と一体となった東日本エリアの観光資源の掘り起し
- ・自然や農業体験などの体験学習型ツアー等、地域との交流促進や次代の育成につながる新しい旅の提案
- ・6次産業化の推進や地産品の需要拡大に向けた「地域再発見プロジェクト」の取組み

○「駅を中心とした魅力あるまちづくり」の推進と選ばれる沿線ブランドの確立に引き続き取組みます

- ・品川新駅（仮称）及び品川駅を中心としたまちづくりのほか、大規模ターミナル駅の開発や地方中核駅を中心としたまちづくりなどによる駅の利便性向上及び沿線ブランドの確立
- ・子育て支援を通じた沿線活性化事業「HAPPY CHILD PROJECT」のさらなる推進

(4) 自らの新しい可能性に向けたチャレンジ

○技術革新や新たな事業等に積極的にチャレンジできる企業風土づくりに取組み、全ての事業分野で質の高いサービスを提供します。

- ・「技術革新中長期ビジョン」に基づき、IoT、ビッグデータ、AI等を活用した、従来の発想の枠を超える「モビリティ革命」の実現【別紙3】

2 感謝の気持ちをお伝えするイベントの開催等

(1) これまでの感謝の気持ちを込めて、東日本エリアで「エキコン」を開催します！

第一弾は東京駅・仙台駅で「エキコン」を開催します。【別紙4】

(2) JR 東日本 30 周年記念パス、JR 東日本 30 周年記念入場券を発売！【別紙5】

会社発足 30 周年を記念したきっぷ、記念入場券セットを発売します。

(3) 記念キャンペーンやイベントを開催！

お客さまからの日頃のご愛顧への感謝の気持ちをお伝えするため、さまざまな記念キャンペーンやイベントを開催します。それぞれの詳細は別途お知らせいたします。

○ 「JR 東日本お客さま感謝祭」の開催

東日本エリアの魅力発信を目的に、JR 東日本グループが持つコンテンツ（駅弁や駅そば、鉄道関連等）を集約したイベントを開催します。

○ 「おみやげグランプリ 2017」の開催

鉄道と共に歩んできた「おみやげ」の過去と現在を、お客さまとともに振り返ります。JR 東日本管内の駅や駅ビルで販売されているおみやげで、各地域からエントリーされたものに対して、お客さまの投票に基づき、グランプリを決定します。

○ 「のってたのしい列車」車両展示イベントの開催

「のってたのしい列車」車両の展示、沿線地域の紹介、物産展などを行います。

○ 沿線子育て応援企画「こども列車出発！」の運行

会社発足 30 周年を記念し、親子が主役となった臨時列車の運行を予定しています。車内での様々な催しにより列車の旅を親子で楽しんでいただき、鉄道に親しんでいただくイベントです。

○ JR 東日本総合研修センターの一般公開の実施

福島県白河市にある研修施設「JR 東日本総合研修センター」を一般公開します。施設内の訓練設備の体験やグッズの販売、ミニ SL の乗車体験等のイベントを予定しています。

(4) 鉄道博物館の新館オープンに向けて

会社発足 30 周年事業として進めている鉄道博物館の新館オープンは 2018 年夏を予定していますが、それに先立ち、現在一部工事中の本館が今年から順次リニューアルオープンします。その第一弾として、2017 年 4 月 27 日（木）に「科学ステーション」と「キッズプラザ」がリニューアルオープンします。



実験・体験や解説を通じ、楽しみながら鉄道に関する科学的な原理を学べる場を提供

「科学ステーション」イメージ



鉄道をモチーフとした創造性豊かな空間と遊びを通して子どもを中心とした鉄道ファンを創出

「キッズプラザ」イメージ

社員に対する安全教育

整備を進める主な教育訓練設備

「本質」を学ぶ

仕事の趣旨・目的、根拠、経緯、構造、動作原理の理解など、社員が考えながら「本質」を学ぶ



構造を理解し、検査修繕を行う
社員の技術力向上に活用

車両の電動モーターのカットモデル

「実践・体験」をする

実際にものに触れて試してみる、失敗を経験するなど、実践的で体験を重視した訓練を行う



運転操縦
シミュレータ
車掌業務
シミュレータ

運転士・車掌の業務における
様々な事態を想定した訓練を行う

「体感・心に刻む」

事故の恐ろしさを体感する、最悪な場面を想定するなど、心に安全の大切さを刻む取組みを深度化させる



工事における事故を
バーチャルリアリティで体感

バーチャルリアリティ技術を用いた危険疑似体験装置



身近な労働災害を体験・体感し、
危険予知の力を高める

墜落体感設備

事故の歴史展示館のリニューアル

事故の悲惨さ、恐ろしさを学ぶために過去に発生した事故の概要、対策の資料などを展示し、社員の研修等に活用しています。

デジタルサイネージによる映像等を活用し、
より深く事故の教訓を学ぶ

現在の事故の歴史展示館



パネル等を用いて、
過去の事故の状況、
当時の報道等を展示



リニューアル後の歴史展示館
(イメージ)

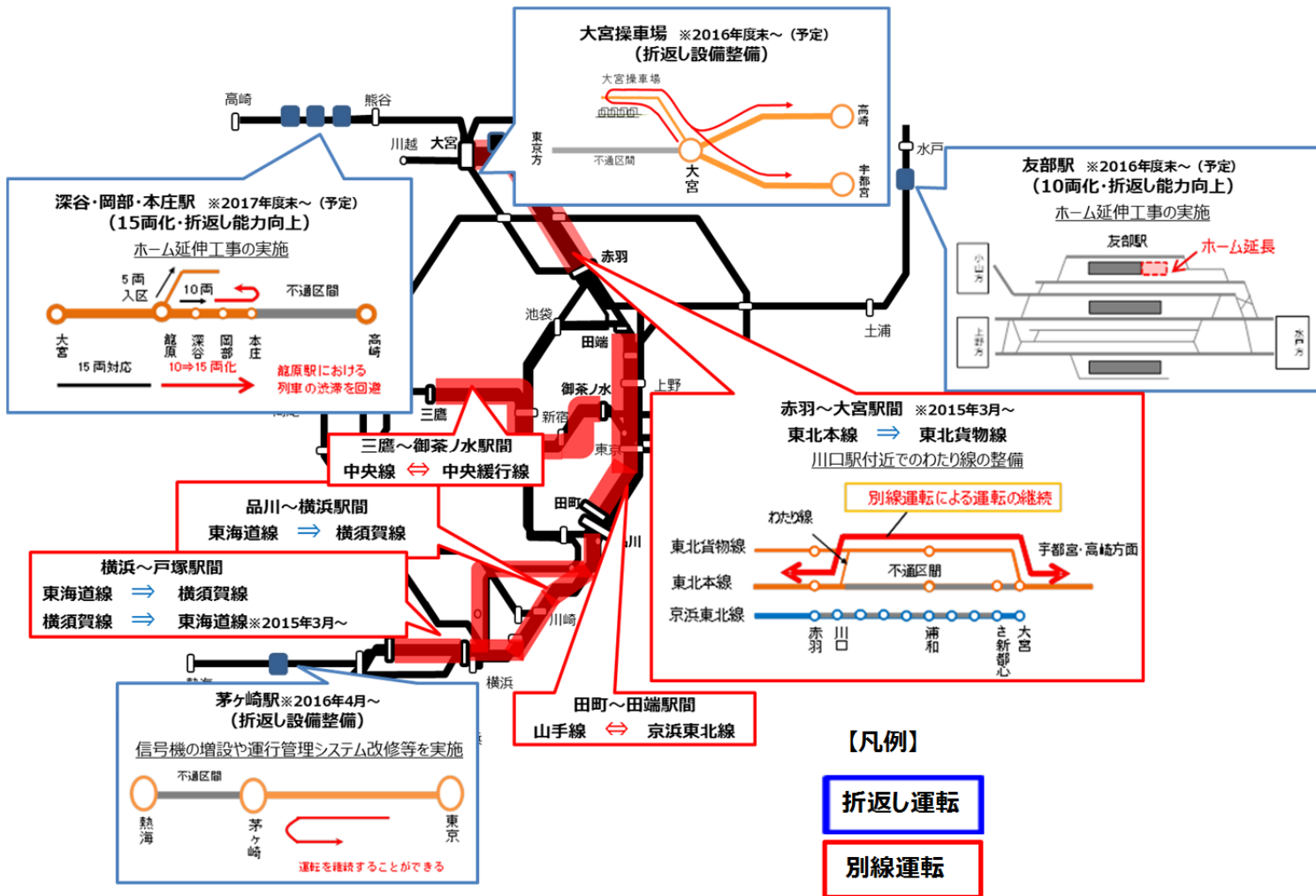
当社発足30年を迎えるにあたり、改めて過去の事故を忘れることなく大切に引継ぐために、また、「事故から学ぶ・感じる」ことを目的に事故の歴史展示館をリニューアルし、安全への取組みをさらに推進していきます。

【別紙 2】

輸送障害発生時の折返し運転・別線運転等による対応能力の強化に向けた取組み

鉄道の安定輸送確保に向けて輸送障害の発生防止に努めるとともに、輸送障害発生時には、列車影響を最小限に抑え、他線区に遅れを波及させないようにする等の対策を進めています。

- 折返し設備の拡充：設備が整った途中駅での折返し運転の適宜実施により、輸送影響範囲の最小化に努めています。
- 別線運転の対応範囲拡大：線路が並行する区間では、片方の路線で輸送障害が発生した場合に、もう一方の路線を共用することにより、概ね 30 分以内に運転再開し、輸送影響を最小限に抑える手配を行っています。



- 線間柵の整備：線路が並行している区間で輸送障害が発生すると、隣接する路線の運転を見合わせる場合があります。支障線区を限定し、復旧作業のための安全を確保したうえで、隣接する路線の運転を継続するために、一部線区で線間柵を整備しています。

線路が 3 線以上並行し、輸送影響が他の路線に波及しやすい箇所、線間柵が未整備であった 10 箇所に、線間柵の整備を実施しました。

【実施駅】

川口、西川口、蕨、南浦和、北浦和、与野、東十条、新子安、東神奈川、新小岩駅



【線間柵設置イメージ】

「モビリティ革命」の実現をめざす主な研究開発

危険を予知し、リスクを最小化



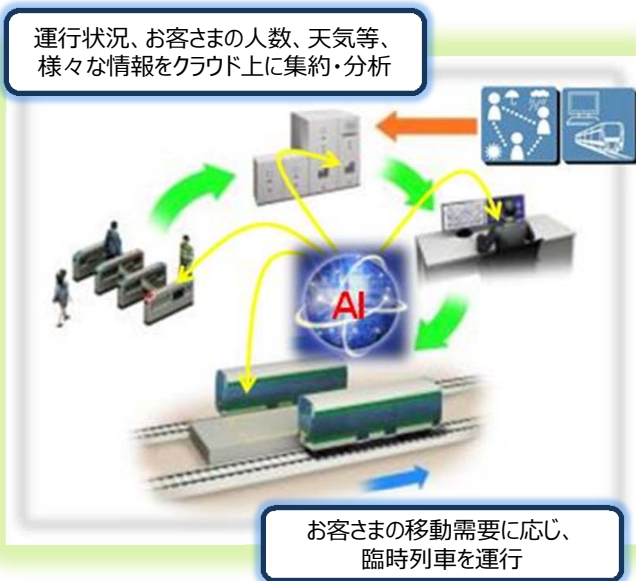
高度道路交通システムやロボットを活用した踏切・ホームの安全性向上

Door to Doorの移動と“Now, Here, Me”の情報提供



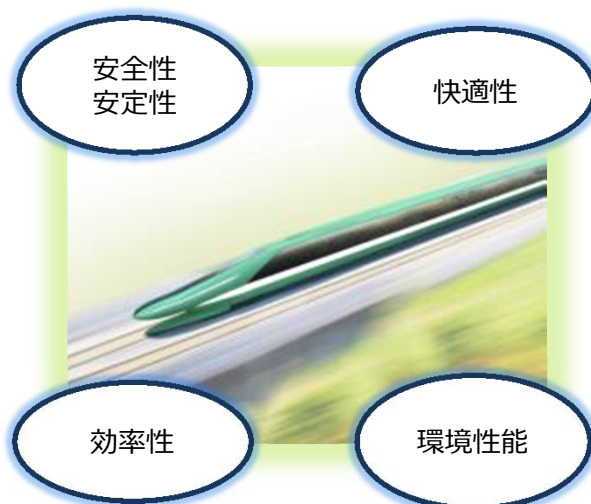
シームレスな移動
ストレスフリーな情報

お客さまの状況に応じた臨機応変な輸送



ダイヤだけに頼らない
フレキシブルな輸送

次世代新幹線の開発



安全・安定性、快適性、効率性、環境性能を高いレベルで実現する新幹線

東日本エリアで「エキコン」を開催！第一弾は、東京駅・仙台駅！

【東京駅】

会社発足直後の 1987 年 7 月に始まった東京駅での「エキコン」は民営化の象徴として注目を集めました。今回は、2007 年 4 月に開催して以来の復活となります。

JR 東日本の第一の出発点は国鉄改革、第二の出発点は東日本大震災。会社の存立基盤である東日本エリアを元気にするために、JR 東日本だからこそできる「地域に生きる。」を掲げました。会社発足 30 周年を機に、新たな未来の創造に向けて、東京駅で東北の子どもたちによる音楽を通じた交流の場を創造します。

○ 名称

JR 東日本発足 30 周年記念コンサート エキコン@TOKYO STATION

○ 開催日時・場所

2017 年 4 月 1 日（土） 12 時～13 時 30 分ごろ 東京駅丸の内北口ドーム

○ 出演団体

相馬子どもオーケストラ

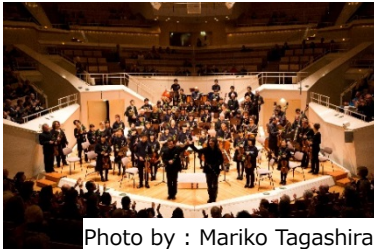


Photo by : Mariko Tagashira

【紹介】

東日本大震災のあと、被災地の子どもたちの「生きる力」を育むために、（一社）エル・システマジャパンと福島県相馬市が協力協定に基づき、相馬市にて音楽教育プログラムを実施。希望する誰もが参加でき、やがて「相馬子どもオーケストラ＆コーラス」へと発展。子どもたちは仲間と共に音楽を楽しみながら学び、2016 年 3 月には、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団とベートーヴェンの交響曲第 5 番「運命」をドイツのベルリンで演奏しました。世界と繋がりながらも、地域に根ざした音楽を大切に、たくましく成長しつづける 5～17 歳の約 140 人の相馬の子どもたち。今回、舞台上立つのは、その「相馬子どもオーケストラ」の代表メンバー 15 名です。

【音楽監督】

浅岡洋平（オーケストラ）、岡崎明義（吹奏楽）

【協力】

相馬市/（一社）エル・システマジャパン

【指揮者】

半谷隆行、中川颯

【当日の演奏予定曲】

モーツァルト / アイネ・クライネ・ナハトムジーク K.525 番 ト長調 より第 1 楽章

アルカンジェロ・コレリ / 合奏協奏曲集作品 6、第 4 番 二長調

モーツァルト / ディヴェルティメント K.136 番 二長調

東北ユースオーケストラ



【指揮者】

柳澤寿男

【紹介】

「東北ユースオーケストラ」は、東日本大震災直後より被災地の学校の楽器の点検修理や音楽活動支援を行ってきた「こどもの音楽再生基金」の発起人の一人であった、音楽家の坂本龍一氏による新たな復興支援プロジェクトで、被災した岩手・宮城・福島県出身の小学 4 年生から大学生までの、公募で集まった約 100 人の混成オーケストラです。東北から子どもたちと共に新しいオーケストラの形に挑み、音楽の枠をも超えた東北ならではの創造性を、世界に向けて発信できることを願い活動しています。音楽の演奏を通じて、被災地の心の復興を図り、震災の記憶の風化を防ぎ、楽団員の中から世界的音楽家の輩出を目指しています。

【当日の演奏予定曲】

坂本龍一 / ラストエンペラー

坂本龍一 / 八重の桜 メインテーマ

坂本龍一 / 「母と暮せば」より

藤倉大 編曲 / Three TOHOKU Songs（大漁唄い込み、南部よしゃれ、相馬盆唄）

坂本龍一 / ETUDE

○ 観覧方法

3 月 7 日（火）から 3 月 13 日（月）までに専用サイトにアクセスのうえ、1 組 2 名様でご応募ください。応募者の方の中から抽選で 85 組 170 名の方をご招待いたします。詳しくは応募サイト（URL）をご覧ください。

【応募サイト URL】<http://www.tokystationcity.com/special/ekicon-tokystation/>

【仙台駅】

仙台駅でも 4 月 1 日（土）に「エキコン」を開催します。詳しくは決まり次第、お知らせいたします。

「JR東日本30周年記念パス」「JR東日本30周年記念入場券」の発売

【JR東日本30周年記念パス】

JR東日本全線のほか、3つの鉄道会社線の普通列車（快速含む）の普通車自由席が連続する3日間乗り降り自由となる期間限定のおトクなきっぷです。別に特急券等を購入すれば、新幹線等もご利用いただけます。ご家族や友人とのご旅行にぜひご利用ください。なお、ご利用開始日3日前までの発売となりますのでお買い求めはお早めに！

- 価格：大人 13,000円、小児 3,000円
- 有効期間：3日間
- ご利用期間：2017年7月21日（金）～7月31日（月）
- 発売期間：2017年6月21日（水）～7月26日（水）
※ご利用開始日の1か月前から3日前までの発売です。
- 発売箇所：JR東日本の主な駅の指定席券売機・みどりの窓口・びゅうプラザ・提携販売センター・JR EAST Travel Service Center および主な旅行会社（一部お取り扱いしていない箇所もあります。）
- 主な効力

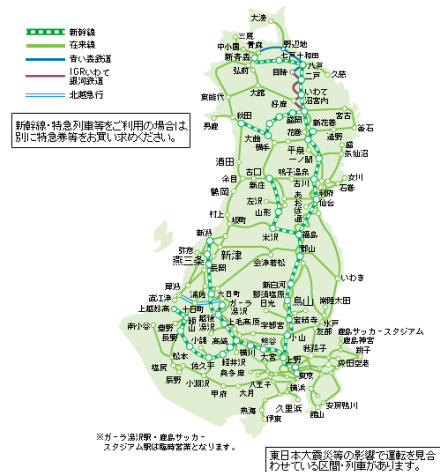
- ・JR東日本全線、青い森鉄道線全線、IGRいわて銀河鉄道線全線および北越急行線全線の普通列車（快速含む）の普通車自由席およびBRTが連続する3日間乗り降り自由です。

- ・別途特急券等をお買い求めいただければ、新幹線・特急列車等もご利用いただけます。

※北海道新幹線の新青森～新函館北斗間、北陸新幹線の上越妙高～金沢間および東海道新幹線はご利用になれません。

- ・奥羽本線の「新青森・青森」間相互発着に限り、特例として「JR東日本30周年記念パス」のみで特急・急行列車の普通車自由席および全車指定席の普通列車（快速含む）普通車指定席の空いている席もご利用になれます。特例区間外にまたがってご利用になる場合は、別途利用全区間の料金が必要です。

JR東日本30周年記念パス



フリーエリア(イメージ)

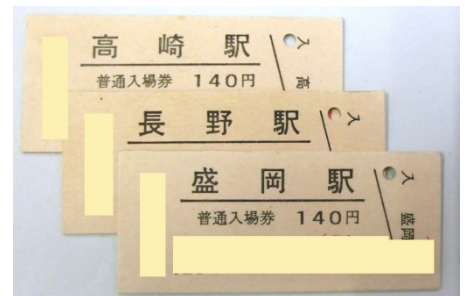
【JR東日本30周年記念入場券】

会社発足30周年を記念してJR東日本各駅（2017年4月現在のJR東日本の鉄道営業駅）の硬券タイプの入場券を300セット限定（バインダー付）で発売します！

- 対象駅：1,634駅
- 価格：228,760円
- 発売数：300セット
- 発売日：2017年10月14日（土）[鉄道の日]
- 有効期間：発売当日から2018年3月31日まで
- その他

- ・お申込み受付は、WEB 又は郵送となります。発売セット数を超える申し込みがあった場合は抽選とさせていただきます。
- ・具体的な受付時期、受付方法につきましては改めてお知らせいたします。

【硬券タイプの入場券】



※券面はイメージです